

イタチゴケ科

トガリイタチゴケ

Leucodon nipponicus Nog.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

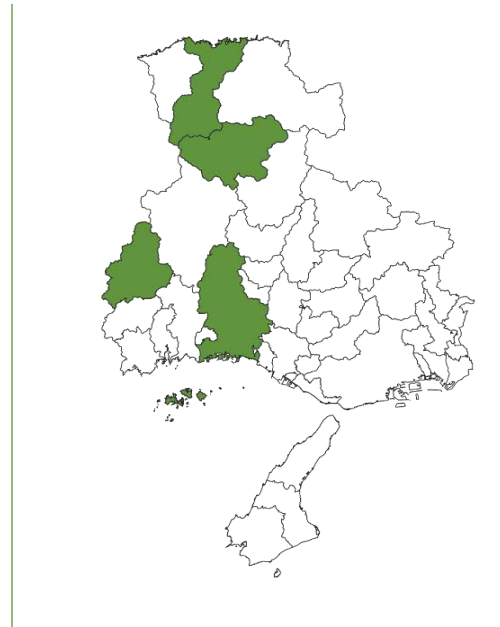
姫路市、佐用町、養父市、香美町

■ 国内分布

本州（静岡県、京都府以西）、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

佐用町はダム建設のため生育地が破壊され消滅。産地が減少したため。また但馬の産地は、イタチゴケ (*Leucodon sapporensis*) の誤同定による報告と考えられる。



写真提供：秋山弘之

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

二次茎は長さ2-5cmになり、先は乾くと鋭頭。茎葉は長さ2.2-3mm、卵形の基部から漸尖して鋭頭、縦ひだがある。葉身上部の細胞は長菱形から線形、長さ25-40μm、厚壁。翼細胞はふつう葉長の2/5-1/2を占める。雌雄異株。蒴柄は長さ3-15mmで平滑。蒴は卵形。前蒴歯はよく発達する。蒴歯は2列、内蒴歯は基礎膜のみがある。孢子は直径40-50μm。低地の社寺林や山地の樹木に着生する。